



小学校受験のえしん会



お話の記憶

親の声掛け

NG集



おうちの方へ

お話の記憶の練習に入る前に、
1度知っておいていただきたい事をまとめました。
ぜひ、お話の記憶の学習の際の参考にしていただければ幸いです。



お話の記憶を伸ばすためにいちばん大切なこと

1. 「めんどくさい」は悪いことではありません むしろ、とても大切です

紙を切る、並べる、おうちの人が問題を読む、一緒に考える。
デジタル社会の今、こうしたことは一見すると
とても無駄なことのように感じるかもしれません。

でも、ここに大きな意味があります。

動きながら覚えたことは忘れにくい
手を動かす、見て、考えて、一緒にやる。

この積み重ねが、記憶力を育てる大切な土台 になります。

そしてもうひとつ大切なのが

親子のふれあい

おうちの人と一緒に笑って、考えて、できたを喜ぶ。

その時間が

「学ぶことは楽しい」 という気持ちを育てます。
小学校受験は、問題に正解することだけではありません。

学ぶことを好きになる

ここが、私たちが一番大切にしている家庭学習のスタートです。



小学校受験は **子どもだけが頑張るもの**ではありません。

タブレット学習にはない

親子のふれあい

ここが一番大切です。

親は何のためにいるのか

子どもは何が嬉しくて頑張るのか

ここを考えることが、家庭学習のスタートです。

2. たくさん褒める

これが最優先

「すごい！」

「ちゃんと聞いたね！」

「最後まで頑張れたね！」

「昨日よりできたね！」

正解より

頑張ったことを褒める

子どもは **大好きなおうちの人に褒められたくて頑張っています。**

それを忘れないでほしい。

正解したことより

- 一緒に喜んでくれたこと
- 認めてもらえたこと
- 見てくれていたこと

の方が、ずっと心に残ります。

だからこそ

たくさん褒める

これが一番の近道です。

3. 最初はできなくて当たり前

「できない」「また間違えてる」

そんなのは

当たり前

です。

最初から上手にできる子なんてほとんどいません。

まずは

おうちの方も一緒に楽しむこと

笑って遊んで一緒に取り組む

これが大切です。

子どもは夢中になると あっという間に **できない** → **できる** に変わっていきます。

おうちの方が焦らないこと

不安そうな顔 イライラした空気

それは子どもにすぐ伝わります。

一番大切なのは 安心して取り組めること

おうちの方が笑っていることそれが子どもにとって一番の安心です。

4. まずは体を動かす

記憶する集中力は

じっと座ること

からではありません

まずは

- 動く
- 聞く
- 楽しい

ここからスタートです。

じっとして話を聞くのが苦手な子ほどここから始めましょう。

5. できるようになったら

絵カード記憶へ

ここで

座る練習

も始まります。

少しずつ机に向かう時間を作る。

無理なく、短く、楽しく。

6. 親子でゲームにする 子どもだけにやらせない

- 親も一緒にやる
- 対決する
- 勝負する

すると

「もっとやりたい！」

になります。

最初は

勝たせてあげても大丈夫

まずは

- やる気になること
- 楽しいと思うこと

ここが大切です。

嫌いにさせないで

コツコツ続ける

これが一番です。

子どもはものすごい力を持っています。

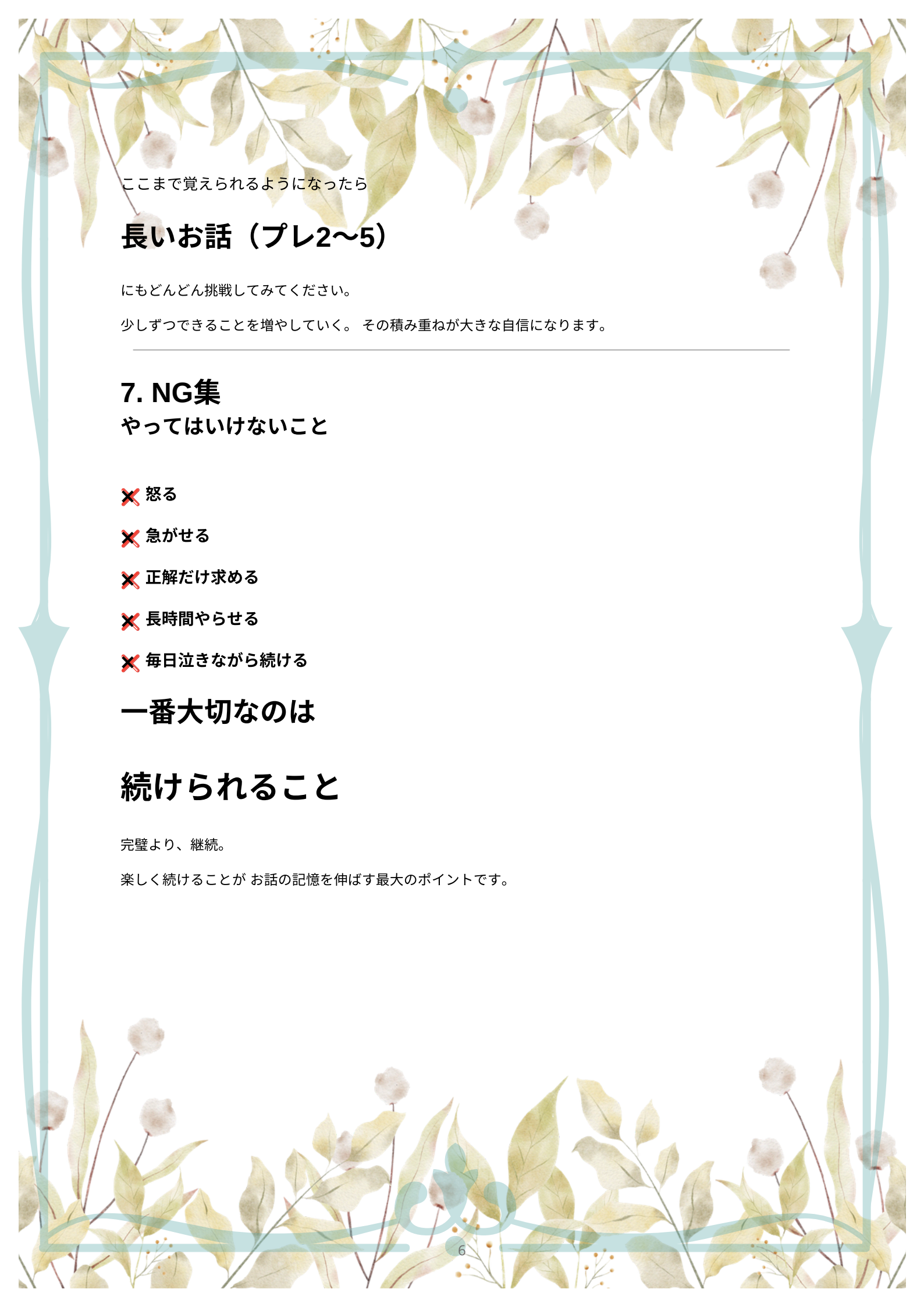
今はできなくても ある日

あっという間に親を超えるくらい伸びていきます。

その時は

本気で勝負する

のもいいかもしれません。



ここまで覚えられるようになったら

長いお話（プレ2～5）

にもどンドン挑戦してみてください。

少しずつできることを増やしていく。その積み重ねが大きな自信になります。

7. NG集

やってはいけないこと

- ✕ 怒る
- ✕ 急がせる
- ✕ 正解だけ求める
- ✕ 長時間やらせる
- ✕ 毎日泣きながら続ける

一番大切なのは

続けられること

完璧より、継続。

楽しく続けることが お話の記憶を伸ばす最大のポイントです。